

# 徳島小松島港中期構想の実現に向けた講演会・意見交換会

## 議事要旨

### 【小松島商工会議所 安平会頭】

- ・赤石地区 13m 岸壁で残り 135m が未完成で残っている。コンテナ船もバルク貨物船も同時に係留して荷役ということが理想だが、現実ではコンテナ船が係留中はバルク貨物船が係留しない、というオペレーションも実際に生じている。ぜひとも岸壁残り 135m の早期完成をお願いする。
- ・徳島小松島港中期構想でも描かれているように、新港地区を 500t クラスの内航船が常に寄港する、内航船専用の中継港とし、水や食料の補給に加え、船員が休憩できる港にできれば、小松島市内のスーパーマーケットなども活性化するのではないかと考えている。



### 【阿南商工会議所 兼松会頭】

- ・トラックドライバーの不足という話があったが、阿南には内航海運業者が多く、海運業界も乗組員の高齢化で困っている。そのような中、阿南で設立した「ふなどころ阿南まちづくり協議会」による取り組みで、乗組員を阿南で養成する「尾道海技学院 徳島阿南校」を令和3年2月16日に無事開校し、乗組員を養成しているが、機関関係の免許も取得できるように取り組んでいる。
- ・高齢化や人口減少が進むなか、国、県、市、商工会議所などが、現場が何に困っているのかを吸い上げて解決策を検討し、今回のテーマにある徳島小松島港の活性化に結び付けていく必要がある。



### 【徳島商工会議所 小笠専務理事】

- ・海運関係では、輸出貨物の多くが徳島ではなく神戸から輸出されているとのことだったが、徳島の港湾においては徳島からの航路数が少なく、輸送コスト、輸送時間といった面が課題である。1回あたりの輸送貨物がまとまった量で集まらないため少なく、本当は距離の近い徳島小松島港がいいが、神戸に荷物を持っていかざるを得ないとのことである。
- ・国土交通省がいわゆるハード整備だけでなく、今回のようなソフト事業をPRしていくことは重要である。こういったソフト面での連携を、これからも引き続きよろしく願いたい。
- ・経済にも大きな影響を及ぼす観光面について、関係者間で目標値を決めて取り組んでいくことも大切である。再び徳島にクルーズ船が寄港してもらうために、観光地や観光地までのアクセス道の整備を一体的に実施する必要がある、それをPRしていくことも重要である。また一度寄港に訪れた人の評価で、次の寄港に繋がるかが決まってくる。「何かが1つ欠けたら魅力にかけてしまう」ということがないよう、それぞれが連携して取り組んでいく必要である。



### 【神戸税関 小松島税関支署長】

- ・外国貿易船が重要港湾のような開港に入港する場合は、特別とん税及びとん税が課され、そのうち特別とん税は最終的に譲与税として港湾所在市町村の税収になる。つまり、大型船舶が寄港するほど地元の税収が増える。また小松島税関の管轄となる輸入（例えば小松島で蔵置された貨物の輸入）の場合に発生する地方消費税は、最終的には県の税収となる。つまり小松島税関の管轄分は、すべて徳島県の税収となる。商工会議所においても、輸出や輸入によって外国貿易船を徳島小松島港に多く寄港させることが地方の税収になることをうまく PR していく必要がある。
- ・また、全国の税関では、輸出入の手続きにかかるリードタイムをなるべく短くできるような取り組みを行っているほか、海外からの旅客に関しては、例えば空港での申告を QR コードを使って簡単にできる「E-gate（電子申告ゲート）」の導入にも取り組んでいる。
- ・このような取り組みで、税関としてもできるだけ手助けしていく。



### 【徳島県県土整備部運輸政策課 遠藤課長】

- ・徳島から阪神港に陸上輸送で流れている貨物を、なんとか徳島小松島港を利用し、輸送していただきたい。徳島小松島港の利便性向上のため、県としてはインセンティブの取り組みも行っている。徳島小松島港をより利用してもらえようお願いします、ご相談にも乗らせていただく。
- ・地方港湾含め、徳島県内の港湾施設は老朽化が進んでおり、台風等の影響で施設の破損等もみられる。航路泊地の埋塞も目立っており、利用者には積荷の調整や潮位調整でご迷惑をかけている。国の協力を得ながら強靱化を進めているところであり、今後ともご協力をお願いしたい。
- ・令和3年3月21日には徳島南部自動車道の徳島沖洲 IC-徳島津田 IC が開通、来年度には津田地区から本四に直結し、さらに今後南伸が進むことで、徳島の港はより一層便利になる。この5月には津田地区に造成している約 9ha の土地の分譲を開始する。臨海部のこの造成土地は、周辺より約 2m 地盤を高くしており、発生頻度の高い津波水位よりも高い地盤高となっており、津波にも強く IC に近い価値ある土地となっている。経済界の皆様におかれては、ご検討をお願いしたい。
- ・赤石地区の岸壁延伸についても検討を進めている。引き続きご協力をお願いしたい。
- ・本港地区の休憩バースについて、本港地区は近くに造船所、銭湯、スーパーもあり、市水道局による水の供給もある。休憩バースをより利用していただけるよう、県としても努力する。
- ・策定から 20 年が経過した港湾計画の改訂が必要であることを県として認識している。新しい港の姿について検討していくため、今後ともご協力をよろしくをお願いしたい。



#### 【徳島県商工労働観光部商工政策課 島田課長】

- ・ハードソフトの両面、また人材育成の取り組みについて、我々としても協力していきたい。
- ・商工観光労働部としては、津田地区の土地分譲に関して、徳島小松島港を活用していただけるよう、県土整備部と連携しながら誘致を進めたい。
- ・観光面では、徳島県の優れた素材や魅力をPRできるよう、商工団体や国の力を借りながら取り組みたい。次長のアドバイスにあったように、ワールドマスタースゲーム、大阪万博など、インバウンドの取り込みについて努力していく。



#### 【小松島市 田中課長】

- ・譲与税については市としても把握していたが、これは県内の経済に動きがあることにより入る税収である。今までは入港地である地元自治体としてどのようなメリットがあるかという視点で考えがちだったが、賑わいをどのように創出し経済の発展に寄与していくか、入港地の小松島だけを考えるのではなく、県全体の視点で連携して考えていく必要がある。
- ・まちづくりにおいて、まずはどのようなまちにしたいのかという長期ビジョンを考え、どのようなメリットを見出していくことが重要であることを認識した。



#### 【徳島市まちづくり推進課 真田課長補佐】

- ・徳島市では、まちと港をつなぐ人の交流として、NPO 法人新町川を守る会により「ひょうたん島クルーズ」を運航している。この周遊クルーズを観光面だけでなく交通手段としても活用できるよう、来年度（令和3年度）には先ほど紹介のあった未着手の再開発の検討エリアである万代、未広、沖洲の3地点から市中心部である両国を結ぶ社会実験を行い、人の流れをつくる取り組みを行う予定であり、本格運航に向けた課題を抽出するという段階にきている。
- ・「水都とくしま」と謳っているが、港湾エリアにはまだまだポテンシャルがある。港湾の魅力をまちづくりに取り込み、経済の発展に寄与していきたい。



#### 【四国地方整備局 池田次長】

- ・徳島小松島港は、他港に比べてコロナの影響によるコンテナ取扱量の落ち込みが大きい。減少し続ける負のスパイラルに陥らないよう踏ん張り続ける必要がある。コロナ収束後の戦略は、海外船社も考えているはず。それに備え、例えば新規航路を開設してもらうぐらい、経済界と行政が一体的になって徳島小松島港の魅力を PR していく必要がある。新しい経済環境をつくる産業政策と、新しい航路をつくる港湾政策、これをパッケージとして取り組んでいく必要がある。
- ・農林水産物については、政府全体も輸出を推進しているが、危惧されるのが京浜港、阪神港に貨物を集めようとする動きである。国内を経由して輸出される場合、国内消費が海外消費にすり替わるだけで、買取価格は国内価格と同等になり、徳島の農林水産業や経済には恩恵がなく、海外で高い値段で販売しても徳島の税収にもならない。これを踏まえると、徳島県内の業者が輸出をハンドリングすることが望ましい。結果的に阪神港などからの輸出になるかもしれないが、徳島県内の業者であれば徳島小松島港を利用するかもしれない。セールスの際、この点は注意が必要である。
- ・徳島小松島港中期構想において課題として挙げているように、阪神港に流れている貨物の割合を見れば、どれだけの税収を逃しているかがわかる。地元の県・市においてはこういったことを意識してアピールすべきである。
- ・津田地区については、できれば港湾貨物や貿易量が増えるという観点で立地企業を選んでほしい。先に述べた観点から、港と街の両方が栄えるように意識していただきたい。
- ・大阪では医薬品の製造額が日本でも突出しており、海外、特にアジア向けの医療を展開できないか検討している。このアジアに近い利点を活かして関西が伸びていけばなおよく、そこに四国が乗っかっていくべきである。徳島は他県に比べ関西への距離が近いこともあり、海上交通の実証実験にも取り組んでいるが、大阪が国際都市として伸びたときに、それをバックアップできる機能を徳島に持ってこられればなおよい。また人を呼び込む観点では、船だけでなく飛行機やバスもあり、大阪が目的地の外国人に、まずは徳島に降りていただく手もある。このように、大阪への期待を逆手に取り、アイデアを出していくべきである。



#### 【小松島港湾・空港整備事務所 新見所長】

- ・徳島小松島港のあるべき姿を考えるにあたっては、経済界の皆さんの意見が重要になってくる。意見交換や情報共有を密に行い、徳島を盛り上げていくことが重要である。経済界には引き続き、港湾へのご要望やご意見をお願いします。

